

2 研究会

(1) 定例研究会

平成14年度に開催された定例研究会は33回である。昭和22年4月1日の農業総合研究所開所以来、通算1918回である。

回次	月日	タイトル	報告者	開催場所
1886	14. 4.16	2000年農業センサス結果分析——家族経営構成別分類でみた農家世帯と土地利用の現状——	江川 章	本所
1887	4.23	2000年農業センサス結果分析——環境保全型農業の展開と実践農家の特徴——	藤榮 剛	〃
1888	5. 8	諸外国における農産物セーフガード措置発動の現状と方向	勝又 健太郎	〃
1889	5.14	中国郷鎮企業の成長と地域間の経済格差——社会主義体制の制度的遺産——	伊藤 順一	〃
1890	5.21	農業収入安定化のための施策について——保険方式と積立方式——	吉井 邦恒	〃
1891	5.28	(1) 限界的商品市場における取引 (2) Optimal Land Conversion at the Rural-Urban Fringe with Positive and Negative Agricultural Externalities	(1)花輪 光 (カンザス州立大学) (2)Jeffery Peterson (カンザス州立大学)	〃
1892	6. 4	自主流通米の価格形成と計画外流通米との競争	薬師寺 哲郎	〃
1893	6.11	英国における食品安全性と表示に関する消費者選好——遺伝子組み替え飼料に関する潜在分類モデルによる選択実験——	矢部 光保	〃
1894	6.18	食品製造業の市場構造——集中水準と集中状態——	佐藤 孝一	〃
1895	7. 2	環境経済統合勘定による地域経済の分析	林 岳	〃
1896	7. 9	CIS農業改革の比較——意義と方法論を中心として——	野部 公一	〃
1897	7.16	現代農村問題とジェンダー——近代化、資本主義とイエ——	中道 仁美	〃
1898	7.23	農業の多面的機能に関する日仏比較研究	嘉田 良平 須田 文明	〃
1899	9. 1	ブラジル大豆の生産動向	清水 純一	〃
1900	9.17	地方制度と農村振興——フランスのコミュンと集落——	石井 圭一	〃
1901	10. 1	定年帰農による地域農業の展開方向	高橋 巖 (農協共済総合研究所)	〃
1902	10. 8	輸入急増下におけるネギ産地の対応方向	香月 敏孝	〃
1903	10.15	アジア諸国・地域の農業財政支出	會田 陽久 石田 章(島根大学)	〃
1904	10.22	中国の農業交渉戦略——農産物セーフガード問題を事例として——	明石 光一郎	〃
1905	10.29	ベトナム農業金融における集落の補完的役割	岡江 恭史	〃
1906	11.19	農地転用と農家資産の因果関係に関する考察	藤榮 剛	〃

回次	月日	タイトル	報告者	開催場所
1907	14.12. 3	戦後から現在までの我が国の食品の安全に関する事例とその変遷および特徴	佐藤 京子	〃
1908	12.10	日本の科学・技術——その光と陰——	村上 陽一郎 (国際基督教大学)	〃
1909	12.17	FAO —— 開発途上国発展のために ——	伊藤 正人	〃
1910	15. 1.14	食品安全の経済分析 —— EU 諸国での動向と課題 ——	嘉田 良平	〃
1911	1.21	農村の家族変容と継承 —— 高崎市における「家族協定農家」の事例より ——	大友 由紀子 (十文字女子大学)	〃
1912	1.28	中国の経済成長と農業の比較優位 —— 論点整理 ——	伊藤 順一	〃
1913	2. 4	途上国農村開発と日本の経験	水野 正己	〃
1914	2.20	リスクの社会学	山口 節郎 (大阪大学)	〃
1915	2.25	2010年の食生活の予測 —— 専門家アンケート調査の結果から ——	谷野 陽 (食生活情報サービスセンター)	〃
1916	3.11	Some Practical Implications of Group Expenditures in AIDS Estimation	Wyatt Thompson (OECD)	〃
1917	3.18	酒米生産の現状と課題	山田 聡昭 (酒文化研究所) 窪添 真史 (東京農工大学大学院)	〃
1918	3.25	農村社会における中山間地域等直接支払い制度の受容過程 —— 山形県の一農村の事例を通して ——	荒樋 豊 (農村生活総合研究センター)	〃

(2) 特別研究会

本所及び分室において、特別研究会を計53回開催した。

月日	タイトル	報告者	開催場所
14. 4. 2	WTO加盟と中国農業	張 象枢 (中国人民大学)	分室
4. 4	【循環利用】 イングランドとウェールズにおける農地価格のヘドニック分析	ダビッド・マディソン (招聘研究員)	本所
5.31	【危機管理】 食料供給に関わるリスクの影響評価に関する分析	鈴木 宣弘 (九州大学)	〃
6. 7	海と人のシステム研究会(海と人のシステム研究会共催)	篠原 孝 婁 小波 (東京水産大学) 和田 時夫 (中央水産研究所)	〃
6.17	【世界食料需給】 (1) 資源制約下における中国農業の現状と問題点 (2) アフリカの食料と農業	(1) 白石 和良 (2) 荒木 茂 (京都大学)	〃
6.17	【危機管理】 (1) 食品安全の経済分析——研究動向と政策的含意—— (2) ゲーム理論によるBSEのリスク分析	(1) 浅野 耕太 (京都大学) (2) 吉野 章 (京都大学)	分室
6.24	日本農業は生き残れるか？(食料・農業政策研究センター共催)	高木 勇樹 (農林中金総合研究所) 本間 正義 (成蹊大学) 宇佐美 繁 (宇都宮大学)	〃
6.26	生産者重視から消費者重視の農業政策への転換——オランダの経験——(在京オランダ大使館共催)	ゲリット・ミースター (アムステルダム大学)	〃
7.19	「農と文明を考える」シリーズ第1回 これからの富国強民の国づくりと農林水産業	川勝 平太 (国際日本文化研究センター、当所参与)	〃
7.22	【危機管理】 食品安全行政の現状と課題——欧州の経験から学ぶ——	中嶋 康博 (東京大学)	本所
7.22	【総合研究「農村経済活性化」】 第1回農村福祉検討会 介護サービスの活動現況(農政調査委員会共催) (1) 介護保険下における介護サービス事業の展開状況 (2) 長崎県五島地域における介護福祉事業所 (3) ニチイ学館における介護サービス事業の現況	(1) 相川 良彦 (2) 叶堂 隆三 (福岡国際大学) (3) 小島 啓克 (ニチイ学館)	分室
7.25	【総合研究「農村経済活性化」】 IT社会と農業・農村	山中 守 (熊本大学)	〃
7.25	【循環利用】 北海道における廃棄物勘定の試算	山本 充 (小樽商科大学)	本所
7.29	【危機管理】 リスクコミュニケーション——遺伝子組換え、環境汚染物質、原子力での経験と食品安全性への適用——	鬼頭 孝通, 内野 尚, 高木 建 ((株)三菱総合研究所)	分室
7.31	【バイオテック先端技術「組換え体産業化」】 GMO政策の言説空間をどう捉えるか？——科学技術社会論の視点から——	大塚 善樹 (広島経済大学)	本所
9. 5	【行政対応特研「流通」】 消費者に対する安全な食品の供給に向けて——ワタミグループの取組——	武内 智 (ワタミフードサービス(株))	分室
9.13	【バイオテック先端技術「組換え体産業化」】 科学技術と市民社会——GMO等を素材に——	藤垣 裕子 (東京大学)	本所

月日	タイトル	報告者	開催場所
14. 9.27	第5回 政策評価研究会 政策評価におけるロジックモデルについて（農林水産政策情報センター共催）	高木 健, 森田 崇((株)三菱総合研究所)	分室
10. 4	【循環利用】 田んぼの学校霞が関分校シリーズ第1回 環境技術の誕生（農と自然の研究所共催）	報告：宇根 豊（「農と自然の研究所」代表理事） 討論者：吉田 謙太郎	〃
10. 7	【循環利用】 ドイツにおける再生可能エネルギーの意義	A. ハイセンフーパー （ミュンヘン大学）	本所
10.25	女性が農村に住みつく条件（農村生活総合研究センター、CFC（現代農山漁村コミュニティ）研究会共催） (1) 女性が暮らしやすく、働きやすく、子を育てやすい農村とは (2) 農村の未婚晩婚化と親子2世代夫婦別居の現状	(1) 林 賢一（(社)農村生活総合研究センター） (2) 相川 良彦	分室
10.28	【総合研究「農村経済活性化」】 第2回農村福祉検討会 介護サービス活動におけるJAの取組みと熊本県の実態報告（農政調査委員会共催） (1) 熊本農村部における介護サービス事業の展開状況 (2) 介護事業所ネットワークと包括的医療保険福祉システムの展望 (3) JAの高齢者福祉活動取組みの現状と課題	(1) 小野 智昭 (2) 宮田 喜代志（リハビリ介護研究所、当所駐村研究員） (3) 平松 宏二（全国農協中央会）	〃
10.31	高齢化の下における食料消費の中長期予測——コーホートの接近——（食料消費のコーホート分析研究会共催）	森 宏（専修大学名誉教授、ニューメキシコ大学客員教授）	本所
11. 7	【危機管理】 食品安全性の需要分析およびリスクコミュニケーション	澤田 学（帯広畜産大学） 佐藤 和夫（酪農学園大学） 合崎 英男（農業工学研究所） 吉川 肇子（慶應義塾大学）	〃
11.13	【世界食料需給】 Korean Agricultural Policy after the Establishment of World Trade Organization（WTO設立後の韓国農政）	アンインチャン（茨城大学）	〃
11.18	【世界食料需給】 (1) 中国の食糧生産を巡る環境問題 (2) インド農業の現状と課題	(1) 双 喜（日本学術振興会） (2) 宇佐美 好文（大阪府立大学）	〃
11.25	【総合研究「農村経済活性化」】 農の教育機能について (1) 障害者と取り組む酪農チーズ製造の実践とその教育機能 (2) 限界過疎地における山村留学の可能性と課題 (3) 農業農村の教育に果たす役割	(1) 宮嶋 望 （農事組合法人共働学舎） (2) 玉井 康之 （北海道教育大学釧路校） (3) 神田 嘉延（鹿児島大学）	分室
11.29	直接支払の特質と取引費用	飯国 芳明（高知大学）	〃
11.29	【総合研究「農村経済活性化」】 第1回 中山間地直接支払い政策検討会 (1) 中山間地直接支払いに対する問題意識の解説 (2) 直接支払い行政費用調査の中間報告 (3) 直接支払いに対する農民意識調査の中間報告	(1) 新藤 光明（農林水産省国際部） (2) 相川 良彦 (3) 池本 良教（広島国際大学）	〃

月日	タ イ ト ル	報 告 者	開催場所
14.12. 2	【総合研究「農村経済活性化」】 イギリスの農村振興政策	柘植 徳雄（東北大学） [コメンテーター] 市田 知子, 石井 圭一	分室
12.11	「農と文明を考える」シリーズ第2回 農の現場から	山下 惣一（農業, 作家）	〃
12.13	【世界食料需給】 (1) 中国およびモンゴル国における牧畜業の発展と砂漠化問題 (2) アフリカ経済学と農業	(1) 鬼木 俊次 (2) 平野 克己（アジア経済研究所）	本所
12.13	空恐ろしや日本の行く末——食・農・環境はどうなるか——	国弘 正雄（英国エジンバラ大学）	分室
12.19	【危機管理】 日本における畜産物の安全・安心システム	矢坂 雅充（東京大学）	本所
15. 1. 9	【行政対応特研「米政策」】 2002米政策改革大綱の批評	大泉 一貫（宮城大学）	分室
1. 10	【総合研究「農村経済活性化」】 農村と都市の人口移動 (1) 女性の農業への新規参入経緯と意識——北海道道央の調査より—— (2) 地方出身者のUターン移動	(1) 原（福与）珠里 （中央農業総合研究センター） (2) 江崎 雄治（専修大学） [コメンテーター] 小池 司郎（社会保障・人口問題研究所）	本所
1.24	【バイオテック先端技術「組換え体産業化」】 WTOと予防原則	岩田 伸人（青山学院大学）	〃
1.24	中国のWTO加盟後の農業政策	銭 克明 （中国農業科学院農業経済研究所）	分室
2.17	【総合研究「農村経済活性化」】 戦後日本の女性農業者の地位	天野 寛子（昭和女子大学）	〃
2.18	【循環利用】 中国における生態環境と調和した農業発展の模索について	劉 光明 （中国農業部農村経済研究中心）	本所
2.19	【総合研究「農村経済活性化」】 日本の有機農業をめぐる法と政策	本城 昇（埼玉大学）	〃
2.26	【総合研究「農村経済活性化」】 漁業への新規就業の現状と課題	高浜 彰（全国漁業協同組合連合会）	〃
2.27	【総合研究「農村経済活性化」】 日本の漁村女性の現状と課題	三木 奈都子（水産経営技術研究所） [コメンテーター] 副島 久美（広島大学）	分室
2.28	【総合研究「農村経済活性化」】 農の教育機能 (1) 新規参入者に対する農業技術研修の展開とその効果 (2) 生涯学習の視点からみた農村地域の発展の可能性について	(1) 江川 章 (2) 笹井 宏益 （国立教育政策研究所）	本所

月日	タイトル	報告者	開催場所
15. 3. 4	Poverty Analysis in Tanzania: Micro-Simulation Analysis	谷口 潔 (FAO/ESAE)	〃
3. 7	【バイオテク先端技術 [組換え体産業化]】 “Scale-Up” から由来する Biosafety の展望	林 健一 (農林水産先端技術産業振興センター)	〃
3. 7	【世界食料需給】 アフリカにおける食糧問題——タンザニアを中心に——	池野 旬 (京都大学)	〃
3. 7	【総合研究 [農村経済活性化]】 第2回 中山間地直接支払い政策検討会 (1) 直接支払い政策にかかる行政費用 (2) 直接支払い政策に対する農民意識	(1) 相川 良彦 (2) 池本 良教 (広島国際大学) 松岡 昌則 (北海道大学)	分室
3.12	環境支払いに対する農家の受容性——全国調査による地域・作物別要因分析とその対応——	野村 久子 (マンチェスター大学) 矢部 光保	〃
3.13	【総合研究 [農村経済活性化]】 福祉と農村コミュニティ (農政調査委員会共催) (1) 福祉と町起こし——市町村自治体の戦略—— (2) 地域通過と農村コミュニティ——新たなライフスタイルの登場——	(1) 鈴木 祐司 (NHK放送文化研究所) (2) 杉岡 直人 (北星学園大学)	〃
3.19	【世界食料需給】 ゼロエミッションと水産研究	三浦 汀介 (北海道大学)	〃
3.20	北海道酪農経営の現状と将来——元気の農業者からの報告——	三友 盛行 (北海道標津郡中標津町, 粗放的酪農) 小久保 謙 (北海道網走郡東藻琴村, 酪農, ダチョウ飼育) 大黒 宏 (北海道紋別郡興部町, 酪農, 牛乳・乳製品の製造販売)	〃
3.24	【循環利用】 家畜ふん尿のリサイクルの現状と課題——岡山県のたい肥化処理施設を事例として——	横溝 功 (岡山大学)	本所

注. 【 】 内はプロジェクト課題名.

(3) ワークショップ

農林水産政策研究所ワークショップは、旧農業総合研究所時代、開所記念日（11月30日）前後に開催されていた秋季特別研究会を、2001年4月の農林水産政策研究所への改組に伴い改名したものである。従来の秋季特別研究会同様、公開シンポジウム形式をとっている。

本年度は、共通テーマ「WTO体制下における東アジア農政の新しい潮流」のもとに、白石和良研究員が「中国」、足立恭一郎研究員が「韓国」についてそれぞれ報告を行い、所外3名の方々からコメントをいただいた上で討論を行った。昨年度に引き続き、農林水産省分館（郵政事業庁舎2階）共用会議室での開催となった。報告、コメント、討論の抄録は農林水産政策研究所レビューNo.7（2003年3月刊）の70～91ページに掲載されている。

(4) 研究成果報告会

当所における研究成果を行政部局及び一般等へ提供するため、研究成果報告会を開催している。

月日	タイトル	報告者
14. 5.22	『フランス農政における地域と環境』	石井 圭一 [コメンテーター] 柘植 徳雄（東北大学） 橋本 次郎（農林水産省大臣官房 企画評価課）
11.12	『海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向』 <個別報告> 「遺伝子組換え作物の生産流通動向と規制アプローチの米欧対比」 「ブラジルにおける遺伝子組換え作物の認可・規制等の現状」 「フランスにおける食品安全性システムーGMO諸施策と関連させて」 「英国における遺伝子組換え農産物と食の安全性に関する消費者意識調査」 「韓国におけるGMO表示制度の現況」 「豪州における遺伝子組換え作物・食品関連規制の動向」 「GM食品に係わる逆淘汰メカニズムに関する考察ーフード・マイレージを手がかりに」	立川 雅司 千葉 典（愛媛大学） 須田 文明 矢部 光保 足立 恭一郎 渡部 靖夫 中田 哲也 [コメンテーター] 大塚 善樹（広島経済大学） 坪井 伸広（筑波大学）

(5) おにぎり・おむすび懇談会

当所分室において、昼休み時間にそれぞれが昼食を持参して集まり、食事をしながら自由な立場で懇談することをねらいとして、おにぎり・おむすび懇談会を開催している。平成14年度は、以下のとおり開催された。

月日	タイトル	報告者
14. 4.10	インドネシア農業について	Ishaka H. M. (インドネシア大使館農務官)
4.18	アメリカ農業について	S. K. Hale (アメリカ大使館農務官)
5.31	WTO交渉戦略と政策研究	鈴木 宣弘 (九州大学農学部助教授)
7. 8	WTO体制下での韓国農協中央会の農産物マーケティング戦略	山本 和子 (フリージャーナリスト, 当所参与) 前田 健喜 (全中営農振興課課長補佐)
10. 4	地域内発型アグリビジネスの可能性を考える	齋藤 修 (千葉大学園芸学部教授)
11. 1	人口高齢化の下における食糧消費の中長期予測 —— コーホート分析 ——	森 宏 (専修大学名誉教授, ニューメキシコ大学客員教授)
12.16	農業経営体の多様な展開をどう理解するか —— 農業経営体の形質的側面と実施的側面について ——	稲本 志良 (京都大学大学院農学研究科教授, 農林業センサス等研究会専門委員)
15. 1. 7	漁業は継続出来るか —— 「漁業構造論」の現在 ——	廣吉 勝治 (北海道大学大学院水産科学研究科教授)
2. 6	世界食糧需給の中期予測作業 —— FAOの作業 ——	柳島 宏治 (FAO経済社会局エコノミスト)
2.21	EUにおける漁業管理 —— 混獲防止技術の発展 ——	藤森 康澄 (北海道大学大学院水産科学研究科助手)
3.10	茶業による地域農業活性化の経験	畑 勝也 (有)ヤマセン代表取締役社長)
3.13	クリーンな酪農経営と乳製品製造販売の経験	井手 行俊 (有)井手種畜牧場代表取締役社長)
3.20	農業における女性の役割	上野 カナエ (岩手県滝沢村, りんご農家)
3.24	「食の安全・安心とメディア」雑感	中村 靖彦 (明治大学客員教授)
3.28	沖永良部島の農業 —— 花の戦略と環境保全 ——	脇田 清一郎 (鹿児島県和泊町, 花農家) 大福 勇 (鹿児島県和泊町役場経済課長)